

I 研修主題

資料を読み取って、自分の考えを持ち表現できる児童の育成
～学校図書館と連携した授業づくりを通して～

II 主題設定の理由

本校は、児童数334名、14学級の中規模校である。「自ら考え、正しく判断できる力を持ち、健康で心豊かに生きる児童の育成」を教育目標に掲げ、具体目標「のびのびと学び合える子」「つよい体にきたえる子」「けだかいところで接する子」の育成を目指して教育活動を展開している。素直な児童が多く、与えられた課題に対してまじめに取り組むことができる。しかし、自分で考え見通しをもって行動したり、自分から進んで行動したりできる児童は少ない。学習の様子では、国語科における「読み取り」が課題となっている。学力調査の結果からも、国語科の文章の読み取りや社会科の資料の読み取りに課題が見られる。また、記述を必要とする設問の誤答率、無解答率が高くなっており、自分の思いや考えを表現することを苦手とする児童も多い傾向がある。「読み取る力」「表現する力」が課題となっている。

現行の学習指導要領総則では、「生きる力」をはぐくむことが基本理念として継承され、「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を重視している。確かな学力を育成するために、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させることを基盤として、思考力・判断力・表現力の育成に重点をおいている。そのため、知識・技能の活用を図る学習活動の充実や探究活動の質的な充実が求められている。

本校は昨年度から県の「学校図書館充実事業」の研究校として委託を受けており、学校図書館担当教諭が配属されている。昨年度は、学校図書館の環境整備や県立図書館「朝の読書推進図書セット」の活用など、読書センターとしての機能充実に取り組んだ。また、国語科や社会科、生活科、総合的な学習の時間などにおいて、学校図書館担当教諭や学校図書館指導員（学校司書）と連携しながら、学校図書館を活用した調べ学習の指導にも取り組んだ。この結果、学校図書館や学級文庫の環境が整い、児童の読書量が増え、読書好きの児童も増えてきた。しかし、学校図書館を利用した調べ学習の活動では課題も見られた。低学年では必要な情報をなかなか見つけられない児童がいる。中学年では課題にあった情報を見つけることはできても、それをただ丸写しするだけの児童が多い。必要な部分だけを抜き出したり、要点を書いたりすることは苦手である。高学年では情報を比べたり要点を整理したりしながら自分の考えをまとめることができる児童は少ない。調べ学習の進め方について、学年の段階に応じた力をしっかりと身につけていく必要があると考える。

そこで、今年度は、学習情報センターとしての学校図書館の活用について研究を深めていきたいと考えた。学習指導要領総則においても「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること」が配慮事項として挙げられている。「課題の設定→見通しを持つ→課題の解決→考える→表現する→振り返る」といった学習過程において、計画的に学校図書館と連携した調べ学習を取り入れることにより、主体的に学習に取り組み、必要な情報を収集、選択、活用し、課題を解決する力を伸ばしていきたいと考えている。このことが「生きる力」をはぐくむことにもつながっていくと考えた。

以上のようなことを踏まえて、学校図書館と連携した授業づくりを通して、資料を読み取ったことをもとに、自分の考えを持ち表現できる児童の育成を目指し、本主題を設定した。

Ⅲ 研究のねらい

各教科・領域において、学校図書館と連携した調べ学習に取り組むことにより、資料を読み取って、自分の考えを持ち表現できる児童の育成を目指す。

Ⅳ 研究の仮説

学校図書館と連携した調べ学習において、発達段階に応じた問題解決的な学習過程に沿って学習を進めていけば、児童は自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝わるような表現ができるであろう。

Ⅴ 目指す児童像（学校図書館と連携した授業の学習過程）

	低学年	中学年	高学年
<課題の設定> 先生や友だちと相談しながら、課題を決める(選ぶ)			
	やりたいこと 知りたいこと	疑問 調べたいこと	疑問 関心のあることがら
<見通しを持つ> 課題解決のための計画をたて、必要な資料を集める			
	必要な資料を図書の先生から教えてもらう	図書の先生の協力を得て、情報を収集するための資料リストをつくる	情報を収集するための資料リストをつくる ※困ったときに図書の先生から必要な助言をもらう。
<課題の解決> 課題にあった情報を取り出す			
	課題にあった情報を見つけ、そのまま書き抜く	課題にあった情報かどうか判断して要点を箇条書きで抜き出す 出典を明らかにして記録する	課題にあった情報から必要な部分だけを抜き出し、複数の情報を比較しながら要点をまとめる 出典や引用を明らかにして記録する
<考える> 自分の考えや感想を書く			
	自分の考えや感想を短くまとめる ※必要に応じて、見直す(図書資料にもう一度当たる)	自分の考えや感想とその理由について、接続詞を用いて2文～3文くらいでまとめる	事実と意見を区別しながら、自分の考えや感想を指定された字数でまとめる
<表現する> 調べたことや自分の考えを相手に伝える			
	相手にわかるように発表する	相手にわかりやすく伝えるために、いろいろな表現方法を選択し、発表する	相手にわかりやすく伝えるために、表現方法や構成を工夫し、発表する
<振り返る> 過程や結果を自己評価する			
	「やりたいこと」「知りたいこと」が解決したか 調べ方や伝え方について評価する	「疑問」「調べたいこと」が解決し、自分の考えが持てたか 情報収集の方法や伝えた内容について評価する	「疑問」「関心のあることがら」が解決し、考えが深まったか 課題の設定、情報収集の仕方、まとめた内容、伝達の方法について評価する

VI 基本的な考え方

本校では、研究主題「資料を読み取って、自分の考えを持ち表現できる児童の育成～学校図書館と連携した授業づくりを通して～」を次のようにとらえている。

「資料を読み取る」とは、説明文や解説文などの文章や、図や絵、写真などの資料から、情報を見つける、課題にあった情報かどうか判断する、情報から必要な情報だけを抜き出すなどの活動のことである。

「自分の考えを持ち表現する」とは、文章や資料から読み取ったことを根拠にしたり自分の知識や経験と比べたりして自分の考えを持ち、それを言葉、絵、図などを使って、相手に伝わるよう自分なりに表現することである。調べたことの伝達だけではなく、収集した情報から考えたことを表現できるようにしていく。

「学校図書館と連携した授業づくり」とは、調べ学習において、担任が学校図書館担当教諭や学校図書館指導員、市立図書館等と連携して準備をしたり、学習を進めたりする授業づくりのことである。担任が学校図書館と連携することで、児童が本で調べ、考え、表現する習慣が身につくようにしていく。

VII 研究の内容

1 授業実践

(1) 代表授業

- 6月 3年国語科 理由や例をあげて説明しよう「生き物のとくちょうをくらべて書こう」
- 7月 5年国語科 新聞を読もう
- 10月 2年生活科 「うごくうごく わたしのおもちゃ」
- 11月 5年社会科 わたしたちの生活と工業生産「工業生産を支える」

(2) 一人1研究授業

学校図書館と連携し、学校図書館担当教諭との TT を取り入れた授業を実践する。担任は T1 として授業を進め、学校図書館担当教諭は T2 として、調べ学習の進め方を説明したり情報を提供したりする。本単元で調べ学習の各過程において、どんな力をつけたいか、はっきりとさせて実践する。

2 資料の作成

(1) 調べ学習における学校図書館年間利用計画

学校図書館が利用して自ら課題を解決していくための学習を年間指導計画に位置付けたものを作成し、計画的に学校図書館を利用できるようにした。重点教材について、その学習を通して身につけさせたい力や主な使用図書を、学年ごとに一覧表にまとめた。

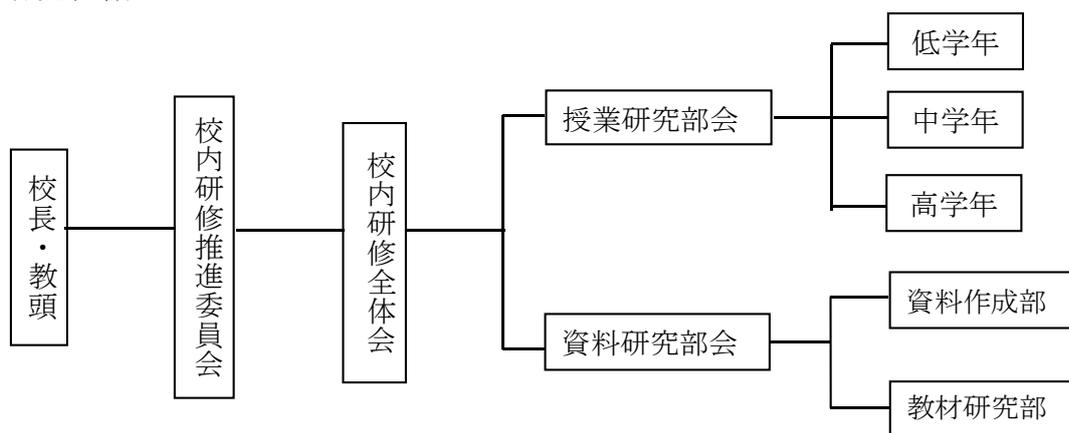
(2) 授業者と学校図書館担当教諭・学校図書館指導員の連携

学校図書館を利用する授業において、担任、学校図書館担当教諭、学校図書館指導員の役割についてまとめたものを作成した。効果的な連携方法を探り、児童が主体的に調べ学習を進めていけるようにした。

3 図書館教育についての研修

講演会「学校図書館を使った授業の充実のために ～調べ学習を中心に～」
講師 群馬県立図書館 指導主事 山田康成先生

< 研究組織 >



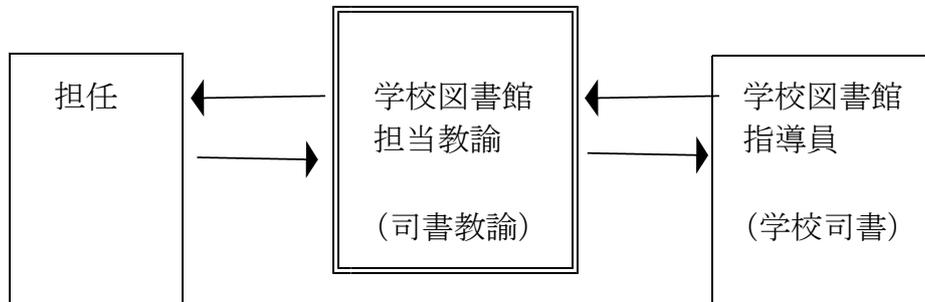
< 研修計画 >

月	日		研修内容
4	13(月)	全体会	研修主題、研修計画、研修内容の検討 学びのルール、家庭学習の手引きの確認 のびる学習（自主学習）の進め方
5	11(月)	全体会	児童の実態把握、目指す児童像の確認
6	1(月)	全体会	代表授業①指導案検討会
	9(火)	全体会	代表授業①、授業研究会
	29(月)	全体会	講演会 講師 群馬県立図書館指導主事 山田康成先生
7	29(水)	推進委員会	研究内容について
8	6(木)	全体会	研究内容について、資料の検討
	26(水)	推進委員会	資料の確認
9	7(月)	全体会	代表授業②指導案検討会
	28(月)	全体会	学力テスト結果分析、夏季研修の報告 公開授業指導案検討会
10	8(木)	推進委員会	公開授業指導案検討会
	19(月)	全体会	公開授業指導案検討会
	20(火)	全体会	代表授業②、授業研究会
11	9(月)	全体会	公開授業に向けて
	27(金)	公開授業	図書館充実事業公開授業
	30(月)	全体会	公開授業のまとめ
12			
1	7(木)	全体会	研究のまとめについて
2	1(月)	全体会	学力テスト分析
	29(月)	全体会	次年度の校内研修について
3			

代表授業①	3年2組	国語科	栗本教諭、中村教諭
代表授業②	2年2組	生活科	関根教諭、中村教諭
公開授業	5年1組	社会科	櫻井教諭、中村教諭

<授業者・学校図書館担当教諭・学校図書館指導員の連携>

○学校図書館を利用する授業実施前



- 《担任》
- ・ 課題づくりの状況把握
 - ・ 学校図書館担当教諭・学校図書館指導員への図書資料収集の協力要請
 - ・ 提示された図書の選定、精選
 - ・ 必要な情報の確認

《学校図書館担当教諭》

- ・ 担任とともに課題づくりの状況把握
- ・ 学校図書館指導員への図書資料収集の協力要請
- ・ 資料集めの手伝い、集まった図書資料の精査
- ・ 資料を使つての調べ学習のリテラシー獲得計画の作成

《学校図書館指導員》

- ・ 必要とされる図書資料集め
- ・ 資料の精査

○授業中

- 《担任》
- ・ 必要な情報を選ぶ支援
 - ・ 情報をまとめるためのワークシートの準備等
 - ・ 自分考えを持つ、まとめるための支援

《学校図書館担当教諭》 場合によっては《学校図書館指導員》

- ・ T2として情報の集め方等の児童の学習支援
- ・ 資料を使つての調べ学習のリテラシー獲得についての支援
- ・ 調べ活動の状況に合わせた資料の提示や解説

図書室環境整備

～いつまでもいたくなる図書室づくり～

第一図書室と廊下のBefore After



以前の図書室



椅子を使った展示の工夫



机の配置変えて明るい雰囲気



季節にあったコーナーで子どもたちを出迎える



子どもたちの興味をそそる人気作者本のコーナー



絵本書架



あいうえお順のプレートを設置・おすすめの本で低学年を引き寄せる



活用されていなかった棚



ビフォー アフター
 第二図書室のBefore After



ただ単に分類別に並んでいる本



プレートを活用することにより調べたい資料が探しやすくなった。

廊下の利用と展示の工夫



前期図書委員のおすすめ本の紹介



知りたい・しらべたい・よみたいテーマを
 きめてから本をさがして感想を書いたよ



読書目標



どくしょの木



「ちいさなこいのぼりのぼうけん」
 を聞いてこいのぼりを折ったよ



山田文庫



給食室とコラボ 給食の絵と本の感想・11匹きのねこを折ったよ